



発行所
 十勝毎日新聞社
 ©十勝毎日新聞社 2004
 〒080-8688
 帯広市東1条南8丁目
 TEL(代表)0155-22-2121
 編集局 0155-22-2121
 広告局 0155-23-2323
 販売局 0155-24-2222
 事業局 0155-22-7555
 総務局 0155-24-2299
 広尾支局 01558-2-4111
 池田支局 01557-2-2367
 本別支局 01562-2-2618
 新得支局 01566-4-5524
 札幌支社 011-261-2161
 東京支社 03-3544-1365



乗用車の屋根に取り付けられた小型無人機

無人飛行機を実験

大樹・JAXA

気象観測などで活用目指す

【大樹】宇宙航空研究開発機構（JAXA）による多目的小型無人機の飛行試験が6日、町多目的航空公園で行われた。

同公園での試験は今年4回目。JAXA飛行試験技術開発センターの穂積弘毅主任研究員のグループが、機体の自動操縦装置などをテストし、各種データを取得した。同無人機は気象観測や海上監視が主目的。JAXAが気象庁気象研究所

所、海上技術安全研究所と共同で開発に取り組んでいる。将来的にはカメラと温度、湿度、気圧などを測定できる機器を搭載し、全球測位システム（GPS）で自動飛行できるプロペラ機を数年内に実用化したい考え。

機体は全長約1・8メートル、全幅3・3メートル、重量20キロ。カーボンファイバー製で機体後方にガソリンエンジン動力のプロペラを取り付けている。

この日は搭載機器の機能を地上で確認後、午後2時半ごろに離陸。機体軽量化のため、離着陸用の車輪は付いておらず、滑走路上で走らせた乗用車の屋根から離陸した。プロペラ音を響かせながら滑空し、高度約150メートルで遠隔操縦から自動操縦に切り替えて飛行特性のデータを収集。30分ほど飛行し、滑走路横の芝生に胴体着陸させた。

実験は9日まで行う予定。穂積主任研究員は「今回のデータを分析し、今年中に再びここで飛行試験を行いたい」としている。（松村智裕）